こまき巡回バス運行事業者選定プロポーザル実施結果

こまき巡回バス運行事業者選定プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置し、審査を行った結果、技術的に最適な者（以下「最適者」という。）として、あおい交通株式会社を特定した。

1 審査結果

最適者	あおい交通株式会社
-----	-----------

2 審査日程

項目	日程
実施要綱等の公表	令和7年4月15日
質疑受付	令和7年4月15日から 令和7年4月28日まで
質疑に対する回答	－（※）
参加表明書等の提出期限	令和7年5月16日まで
審査委員会（書類審査、プレゼンテーション及びヒアリング）	令和7年5月28日
結果発表（公表・通知）	令和7年6月2日

※質疑受付期間に質問書の提出はありませんでした。

3 評価基準

審査	評価項目	評価事項	配点	
第二次審査	提出者の実績及び実施体制	事業実績	10	
		事業実施体制	30	
	運行の安全性	国土交通省による処分状況	10	
		重大事故の発生状況	10	
		緊急時の対応能力	20	
	提案内容	収益拡大及び経費削減	15	
		高齢者、障がい者等の対応	10	
		交通DXに関する取組み	10	
		運行ダイヤ	10	
		地域特性への理解	5	
	取組意欲	プレゼンテーション能力	10	
		コミュニケーション能力	10	
	合計			150

4 審査の経緯

令和7年4月15日に、プロポーザルに関する公告を行い、令和7年5月16日までに参加表明書等の提出があった1者について、提案内容等に関する書類審査、プレゼンテーション及び審査委員によるヒアリングを行った。

審査委員会では、その内容に対する評価と、取組み意欲に対する客観的評価を合わせた結果を踏まえて審査を行い、最適者を選定した。

参加表明書等の提出者

受付番号	提出者名
1	あおい交通株式会社

5 講評

今回、最適者となったあおい交通株式会社は、本市を含めた隣接市町で豊富な事業実績があり、過去の重大事故等を受けた教訓を踏まえ、運行管理体制や運転手の教育体制、運転手の健康管理などの事業実施体制や、事故発生時や災害発生時における緊急時の対応能力などの運行の安全性に対しての体制が整備されている点が高く評価された。

また、環境に配慮したEV車両の導入計画における経費削減や、外国人利用者のための翻訳ソフトの搭載、PayPay導入による決済手段の多様化などが提案され、変化の多い社会情勢への長期的視点に立った対応が期待できることから、最適者として選定に至った。

今後、最適者には、提案された内容に基づき、安全運行を第一に、こまき巡回バス運行事業に努めていただきたい。